

令和 5 年第 2 回(6 月)定例会一般質問会議録

「日田市総合保健福祉センター(ウェルピア)について

令和 5 年 6 月 16 日(金) 11:00~12:00

○議長(三苫 誠君) 12番 中島章二君。

○12番(中島章二君) [登壇]

おはようございます。通告に基づき市政に対する一般質問を行います。

まず1項目め、日田市総合保健福祉センターについてからです。

日田市総合保健福祉センター「ウェルピア」は、市民の福祉、健康の増進及び意識の高揚を図るために設置された施設で、2階にはトレーニング室、プール、多目的ホールが備えられています。市内にはウェルピアのほかにも、市民の福祉、健康の増進及び意識の高揚を図るための施設として、大山総合福祉センター、天瀬総合福祉センターが設置されています。その中でもウェルピアは市民の健康増進のためにトレーニング室やプールを設置している貴重な施設として、市民の皆さんにとって気軽に利用できる健康づくりの場所として認知されております。また、活用していることで、非常に日田市にとって特徴を持った施設、保健福祉施設だと思っております。

健康づくりの場所として利用している方たちから、コロナ禍で利用休止になったときに、コロナ対策を取って早く利用再開をしてもらいたいという要望を私も聞いてきた施設でございます。健康づくりのための施設として、なくてはならない場所として感じている方も多くいるのではないのでしょうか。

高齢化の進む日田市において、健康寿命を延ばしていくための効果的な特徴を備えた施設としてウェルピアは設置されています。この施設を活用して市民の健康増進を図ることは重要なことであるとの考えから質問いたします。

まずは、ウェルピアの利用状況の確認として、過去5年間の利用者数の推移をトレーニング室、プール、多目的ホールごとにお聞かせください。

次に、日田市が行っている健康増進施策について具体的に聞かせていただき、その施策の中でウェルピアの役割はどのように考えているのか、お聞かせください。

○議長(三苫 誠君) 福祉保健部長。

○福祉保健部長(衣笠雄司君) [登壇]

私から日田市総合保健福祉センターについて及び日田市手話言語条例についてお答えいたします。

まず、日田市総合保健福祉センター「ウェルピア」に関する御質問のうち、センターの過去5年間の利用者数の推移につきましてお答えいたします。

まず、トレーニング室につきましては、延べ人数で、平成30年度が1万6,147人、令和元年度が1万3,719人、令和2年度が5,662人、令和3年度は6,539人、令和4年度が7,723人となっております。

なお、令和2年6月より先月の5月8日までにつきましては、新型コロナウイルス感染症対策といたしまして、人数制限等の対策を行いながら運営しておりますので、若干数字のほうが減っているのは、そういった状況でございます。

プールにつきましては、こちらも延べ人数でございますけれども、平成30年度が8,504人、令和元年度が5,698人となっております。令和2年1月からは、まず施設改修工事で休止をいたしまして、そのまま新型コロナウイルス感染症対策のため中止となっており、現在まで中止となっておりますことから、令和2年度以降の利用実績はないところでございます。

また、多目的ホールにつきましては、こちらは利用団体の延べ件数ということになりますけれども、平成30年度が480件、令和元年度が496件、令和2年度が498件、令和3年度が557件、令和4年度が558件となっております。

次に、市民の健康増進に係る取組についてでございますが、市では、健康ひた21計画、日田市食育推進計画に基づき、安心して子供を産み育てられる環境づくりや市民の健康寿命の延伸を目指して、一人ひとりが主体的に健康の維持増進ができるよう妊娠から高齢期まで各ライフステージに応じた健康施策を推進しております。

その取組といたしましては、生活習慣病の発症予防や重症化の予防、疾病の早期発見のための健康診査やがん検診、また、生活習慣病の改善や健康づくりのための健康教室や健康相談、ウォーキングの取組等を実施しております。

健康づくりへの関わりにつきましては、個人への支援ではなく地域全体へのアプローチが不可欠でありますことから、地域の公民館等で開催する生活習慣病の予防教室や栄養改善料理教室、また、ステップ地域教室や運動教室等の実施につきましては、地域の方々や市が育成する健康づくりボランティアの方々に協力をいただきながら地域と共に取組を推進しているところでございます。

このような取組を継続することで、市民一人ひとりが健康づくりに無理なく取り組むことができ、住み慣れた地域でいつまでも元気に過ごすことができるよう健康寿命の延伸を目指し、健康の維持増進に取り組んでいる状況でございます。

そのような中、議員お尋ねの健康増進施策の中での総合保健福祉センター「ウェルピア」は役割についてでございますけれども、ウェルピアにつきましては、地域住民の福祉、健康の増進及び意識の高揚を図る施設として設置しているものでありまして、議員からも御紹介のありました市民誰もが健康増進のために活用できる施設であるというふうに認識をしているところでございます。

○議長（三苫 誠君） 12番 中島議員。

○12番(中島章二君) それでは、まず、ウェルピアのほうから再質問させていただきたいと思います。

利用者の推移を見ますと、コロナ禍での利用休止による減少もありますが、プールについては、先ほど部長もおっしゃられていました設備故障のため利用休止が続いております。プール利用再開に関する市民の方からの意見や要望等が市のほうに上がっていましたら、こういったものをお聞かせください。

○議長(三苫 誠君) 福祉保健部長。

○福祉保健部長(衣笠雄司君) お尋ねの市民の方、御利用されていた方からの問合せ状況でございますけれども、こちらにつきましては、主な御意見と申しましては、再開がいつ頃でしょうかというお問合せですとか、これも前、御答弁を申し上げたと思いますが、利用権をお持ちの方からは、この払い戻しがあるでしょうかといったところが、多数の方というよりは、特定の方から定期的にお尋ねがあっているというような状況でございます。

○議長(三苫 誠君) 12番 中島議員。

○12番(中島章二君) いわゆる利用再開に向けて声が大きかったということで、今部長おっしゃられました、多くの方というよりも、ある程度決まった方からの御意見御要望だということでよろしいでしょうか。

○議長(三苫 誠君) 福祉保健部長。

○福祉保健部長(衣笠雄司君) お名前等をお尋ねしているわけではありませんけれども、受けた職員から言うと、定期的に、ある程度、決まった方といいますか、聞き覚えのある方というふうに伺っております。

○議長(三苫 誠君) 12番 中島議員。

○12番(中島章二君) 再開を希望するということで御要望が、同じ方と言いましょか、特定の方がお声をということですけど、そういった方は一緒に利用されていた方の声を代表して市のほうに問合せを、御要望を言ってくるものもあるかと思いますが、そちらについて、市としてはどのような対応を行ってきたんでしょうか。

○議長(三苫 誠君) 福祉保健部長。

○福祉保健部長(衣笠雄司君) 現段階では、施設の状況等、コロナが先月まであったというのもありますので、今後、交渉も費用的には、これも委員会のほうでも少し御報告をさせていただいておりますけれども、多額な費用もありますので、今後の上を見ながら判断する必要があるということで、今具体的な再開のスケジュールがないものですから、今のところまだ、いろいろな状況で具体的な再開のめどは立っておりませんというような対応をさせていただいているところでございます。

○議長(三苫 誠君) 12番 中島議員。

○12番(中島章二君) 今、昨年度、教育福祉委員会の中でも市民の方からの声を聞いて、御質問等をさせていただいたところでございますが、こちらについて、新年度に

入りましたら利用者の方たちから声を聞かせていただき、今後の再開等方向性について話を進めていきたいということをおっしゃっていました。新年度入ってもう6月になりますので、今現状で、市民の方からの御意見の聴取といいたいいでしょうか、意見交換会のようなものが、もう行っているのであれば、お聞かせいただければと思います。

○議長（三苫 誠君） 福祉保健部長。

○福祉保健部長（衣笠雄司君） 今、議員から御紹介いただきましたように、御審議の中でも、そのように実際に御利用する方々やそのほかも含めて、多くの方の御意見をお伺いしたいということで御説明をしたかと思えます。今まだ、そこを実施までに当たっておりませんけれども、もう新年度始まってもう3か月目となりますので、今担当課のほうで早急にそういった御意見をひとつ、どういうふうなお伺いの仕方が、御意見が取るのに適切かというところで、幾つかの方法を今練っておりまして、場合によっては、一方法だけでなく、二つとかという形で意見を取ろうかなということで準備を進めておりますので、もう早急にこういった意見が取れるように進めてまいりたいというところでございます。

○議長（三苫 誠君） 12番 中島議員。

○12番（中島章二君） 利用者の方は、コロナ禍も含めて3年間利用できない、特にプールについては長い期間利用できないということで、利用者の方、コロナ前でいくと8,000名、プールについては8,000名を超える方が利用されています。そういった方が、自分の健康づくりのため、日田市として考えれば、健康寿命の延伸のために積極的に活用いただいている施設です。そういった方の声を委員会通しても申し上げてきましたが、早急に対応すべきものであって、昨年度の委員会の中で、新年度に入りましたら皆様方の御意見を聞く機会をとということで言っていました。それがまだやっていないということは、どういう日田市の考えなんでしょうか、お聞かせください。

○議長（三苫 誠君） 福祉保健部長。

○福祉保健部長（衣笠雄司君） 先ほどの御答弁と繰り返しになりますが、これはもう委員会でも御説明のとおり、早急に御意見を伺いする必要があるということで準備を進めておりますので、もう早急に、そういった御意見が取れるように対応したいというふうに考えております。

○議長（三苫 誠君） 12番 中島議員。

○12番（中島章二君） 昨年度委員会の中で話をしましたが、利用できない期間はもう3年を過ぎています。自分たちの健康づくりのために、非常に価値のあるといいたいいでしょうか、効果のある施設としてウェルピアがある、またプールがあるということで、市民の方は、最初はコロナだから使えないんだろうと思っていました。途中から、委員会の中で質問したところで、設備の故障があるということで話が聞けたわけですけど、そういったところで早く使わせていただきたいという声があるのであれば、やはり市としては、しっかりとした情報提供を市民の皆さんにすべきではないかと思っています。早急に利用者

の方たち等の声を聞いていただき、方向性、価値について、しっかり市としても話をしたいと思っています。

その施設についてなんですが、こちら日田市がつくっています施設の総合管理計画の中では、ウェルピアを含んだその他社会福祉施設の現状での課題として、稼働率が低い諸室が多いことから、施設の改修、更新に当たっては、諸室の稼働状況を勘案した計画が必要。今後老朽化することが予測されることから、設備面も含めて適切な改修を行う必要があることから、方針としては、人口減少等で利用者の減少が想定される施設は統合、縮小を行う。民間団体に貸付けを行っている施設は、民間移管を基本とするとあります。先ほどのやり取りでもありますが、高齢化の進む日田市において、ウェルピアは、子供から高齢者まで健康増進のために利用できる施設だと私は考えております。

市民の方とお話をする前段階としまして、こちらのほうを市として、総合管理計画で利用者の状況を見てということではありますが、市として、今現状どのようにお考えを持っているのか、お聞かせください。

○議長（三苫 誠君） 福祉保健部長。

○福祉保健部長（衣笠雄司君） 今、議員から御紹介いただきましたように、公共施設等総合管理計画の中では、このウェルピアも含め、その他の社会福祉施設という区分の中で、御紹介のとおり、利用状況を見ながらという位置づけになっております。

特に、ウェルピアのほうにつきましても、民間委託しているところにつきまして、現在管理を委託しているところにつきましては、民間移管を基本とするという対象の施設となっております。

先ほど少し再開に向けてもお話ししましたとおり、議員からも御紹介ありましたとおり、実際、施設に故障もありましたりとか、老朽化に伴いまして、今後、改修が必要となって、その費用についても多額になることが見込まれておりますことから、そういったところ総合的に勘案しながら、基本的には民間移管を想定して、どう運営するかという方向性の中で今検討しているという状況でございますので、一方で、御登壇で御答弁させていただきましたとおり、議員からもお話あるとおり、健康増進という取組もしておりますので、その中でウェルピアの位置づけということも総合的に勘案しながら、今どう運営することが日田市民の方にとっての、健康増進にとってのいいかということも含めながら検討しておるというような状況でございます。

○議長（三苫 誠君） 12番 中島議員。

○12番（中島章二君） こちらのほうを日田市として、しっかりと方向性を持っていただいて、市民の方と協議を行っていただく必要があるかと思っています。

施設については、また老朽化等で、改修等で経費が必要かということ。それと、経費の部分としっかりと効果、健康増進のための効果というものをしっかり照らし合わせていただきながら、方針をつくっていただきたいと思っています。

あわせまして、今後の運営の在り方についてお聞きしたいと思いますけど、先ほどとちよっと重なる部分もありますけど、誰もが健康増進のため活動できる場所、ウェルピア、先ほど民間移管、施設としては民間移管、運営等も民間移管を考えているのかということがありますが、市が健康増進のための施設として、場所として、機能として、ウェルピアをどのように運営を考えていくのか、お聞かせください。

○議長（三苫 誠君） 福祉保健部長。

○福祉保健部長（衣笠雄司君） 申し訳ありません。答弁が重なってしまいますけれども、先ほど申しましたように、議員からも御紹介もありますとおり、プール、トレーニング室と健康増進に有効な施設であるということの認識は、市としても持っております。一方で、築30年近くたっておる施設でありますことから、施設の性質柄、維持、改修等していくためには多額な費用も伴うというところでございます。

御紹介申し上げたとおり、公共施設等管理計画の中では、民間移管も意識しながらというような複合的な課題を抱えていることも事実でございますので、健康増進とのバランス、今後の市としてのそういったところの方針も重ねながら、今後検討してまいりたいというふうに思っております。

○議長（三苫 誠君） 12番 中島議員。

○12番（中島章二君） ウェルピアのトレーニング室も多目的ホールもそうですけども、プールについては、その他の民間のプール施設と環境がかなり変わっています。特に高齢者の方や小さな方でも利用しやすいような、水深が浅くて温度設定も高めに設定しているというようなところで、健康増進のためには、特にリハビリ等も含めて、非常に有効な場所だと利用者の方からお声を聞いていますので、そういったところもしっかり加味しながら、今後の方針、運営について、市としても考えをつくっていただきたいと思っています。

市長、最後にちょっとお尋ねします。私と今、部長とやり取りしましたが、市長の考える健康増進のためのウェルピアという施設について、市長のお考えがあればお聞かせください。

○議長（三苫 誠君） 市長。

○市長（原田啓介君） 先ほど、議員のお話の中にもありましたように、いわゆる費用対効果というような観点が、当然それから抜け落ちるわけにはいかないだろうと思っています。これで数千万円、数億円かけて改修して、利用者が数名というような話でそれでいいのかということになると、それまた違うだろうというふうに考えますので、先ほど利用者がどのような利用形態が今後望まれるかということ、そして、それにどれだけ多くの方が参加いただいてというようなこともある程度検証しないと、なかなか大きな投資はできないだろうというふうに考えておりますので、そういったところは、多分、担当課のほうで今後考えていくことだろうというふうに思っております。

○議長（三苫 誠君） 12番 中島議員。

○12番（中島章二君） 今、市長おっしゃっていただいたように、あの施設を有効的に今後使っていただき、市民の方、また費用対効果をしっかり見て、ウェルピア、そして健康づくりのための日田市の施設というものをしっかり考えていただきたいと思いますので、どうぞ検討をよろしくお願いします。